

## 大山崎町の道路整備を早期に実施することについて

当町には町道 44 km と私道 2.6 km がある。位置指定道路として幅員 4m に満たない道路は補助金活用がしにくく整備が進んでいない。アスファルトの劣化により歩行者がつまずく事もある。緊急的な応急処置は必要に応じて実施されている。しかし、歩道がない道路、狭い歩道、幅員が狭小で車両の離合が困難な道路、側溝のない道路、側溝があっても蓋がない道路など安全対策が急がれる。

町は社会資本総合整備計画の第 2 期の令和 6 年から令和 9 年にかけて補助金活用の整備計画は作成済、町として整備すべき道路は上記計画以外にもある。避難路兼通学路整備計画は令和 6 年以後年次で道路を確定している。町の単独予算で整備する緊急事業は速やかに今年度中に実施するとして、来年度以後の町単独整備が必要な道路、用地の買収が必要となる事業等を総合的にひとめで分かる表（仮称「町民の道路整備一覧表 R6」）で明確にすることを求める。

「町民の道路整備一覧表 R6」に基づき中長期的な予算を協議する。その中に私道整備も含め、道路整備の順位や是非を議会も含めて検討し実行計画を確定する。

これにより危険性、整備内容の難易度、中長期予算等から住民が望む必要な道路整備が平等に計画的に実施し、住民の安心安全が確保される。

大山崎町の住民の安全向上には難易度の高い道路整備を計画的に実施していくことを強く求める。

### 具体的な進め方

#### 1. 対象道路の洗い出しとして「道路管理地図 R6」の作成

町内の道路一覧地図を色分けする

- 色分け項目
- (1)整備済みと今年度中に整備完了分、
  - (2)補助事業で整備計画確定済み（実施計画年毎）、
  - (3)町単独で整備道路
  - (4)用地買収が必要な整備道路

#### 2. 「町民の道路整備一覧表 R6」の作成

上記1の色分け項目(3)と(4)について一覧表作成

(3)町単独で整備道路（私道も含む）

整備内容 作業工法 利用状況 作業費用 難易度等

- ・上記項目を調査、中間時点で議会に報告する
- ・概略時点で住民に公表し、最新の危険個所を確認する

(4)用地買収が必要な整備道路

既存計画の有無と見直しの必要性を考慮しながら場合によっては応急的工法も含めて、予算を含む拡幅整備計画を策定する

3. 「町民の道路整備一覧表 R6」に基づく整備計画の協議

(3)町単独で整備道路と(4)用地買収が必要な整備道路の一覧表に基づき、中長期実行計画を議員も含めて協議する

確定した「町民の道路整備一覧表 R6」は住民に公表する

以上、決議する。

令和6年12月20日

大山崎町議会